

令和 4 年度ユネスコ関連予算

令和 4 年 1 月現在
(単位：百万円)

分担金	
外務省	3,098
任意拠出金	
外務省	320
文部科学省	270
国土交通省	35
合計	625

(外務省国際文化協力室作成資料に基づく)

国内外におけるユネスコ活動の推進

令和4年度予算額（案）408百万円
（前年度予算額 408百万円）



文部科学省

○戦後、我が国が初めて加盟した国際機関であるユネスコとは**長く緊密なパートナーシップ**を形成。ユネスコが主導し、本年から「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」、昨年から「持続可能な開発のための教育(ESD):SDGs実現に向けて(ESD for 2030)」といった**新たなフェーズが始動**。

○こうした中、我が国は、**ユネスコ活動の多様なステークホルダーを結集し、日本の強みとユネスコの専門性を組み合わせた取組**を重点的に実施することで、国内外のユネスコ活動を**戦略的且つ効果的に推進**。

信託基金を通じたユネスコ事業への協力～我が国のプレゼンス向上とSDGs達成への貢献～ 199百万円(200百万円)

信託基金協力事業の実施を通じ、我が国の強みを生かした事業を戦略的・重点的に推進。ユネスコにおける我が国の影響力・プレゼンスの向上を図るとともに、**重要施策**において一層主導的な立場を確保しつつ、SDGs達成に向けた**国際貢献・協力**を進める。

アジア太平洋地域等における教育・科学分野での戦略的・重点的支援

○開発途上国への教育協力事業

(アジア太平洋教育協力信託基金拠出金) 48百万円(50百万円)

我が国の知見・経験とユネスコの専門性を生かした教育協力を行い、域内の国々との関係をさらに強化しつつ、教育を通じたSDGsの実現へ貢献。

○ユネスコ地球規模の課題の解決のための科学事業信託基金

拠出金41百万円(40百万円)

ユネスコ科学事業(海洋、水、生物多様性分野等)を通じ、能力開発・リーダー育成、研究ネットワーク形成、域内政策形成等を支援するとともに、「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」の推進に貢献。

我が国の主導的立場確保に資するユネスコ重点分野・課題への貢献

○SDGs実現のための教育プログラム戦略的支援信託基金拠出金

50百万円(50百万円)

SDGsの実現に向けて、国連システムにおけるSDG4(教育)の主導機関であるユネスコが実施する教育事業への戦略的支援を実施。

○ユネスコ「世界の記憶」協力事業信託基金拠出金

60百万円(60百万円)

記憶物の保護・保全等に関する能力開発のためのワークショップ開催や地域の実情に応じた記録物の保護等のためのツールキット策定支援を実施。

ユネスコ「世界の記憶」に関する
国内推進体制の構築
6百万円【新規】

ユネスコ「世界の記憶」の国際登録の申請が再開されたことを受けて、我が国としてふさわしい案件の選定を進めるために、「世界の記憶」の事業趣旨や、記録物を保護・活用することの重要性について、国民の理解促進と機運醸成を図る。

- ✓ ウェブサイト(文科省ウェブサイトを含む)やSNS等を活用した広報
- ✓ 国内申請を検討している個人・団体に対する研修の実施等

ユネスコ未来共創プラットフォーム
88百万円(92百万円)

世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化に向けて、SDGsの達成に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内の多様なユネスコ活動ネットワーク拠点の戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進する体制を構築する。

- ✓ ユネスコ未来共創プラットフォーム事務局の構築・運営
- ✓ 国内ユネスコネットワーク拠点の戦略的整備
- ✓ 先進的なユネスコ活動の海外展開

SDGs達成の担い手育成
(ESD) 推進事業
44百万円(50百万円)

国内外で高まるESDのニーズを踏まえ、SDGs達成の担い手を育む多様な教育活動を実施・支援し、SDGs達成の担い手に必要な資質・能力の向上を図る。

- ✓ カリキュラム等の開発・実践
- ✓ 教師教育の推進
- ✓ 教育(学習)効果の評価と普及
- ✓ ユース世代の活動の推進

我が国の影響力・プレゼンス向上を図るとともに、SDGs達成に向けた貢献を果たす